

「コロナ禍 2年目の働く女性の実態調査」結果発表

コロナ禍 2年目、働く女性のリアルな生活が明らかに

**約 7 割が通勤がなくなった朝に“新習慣”**

5人に1人が**600万円以上貯蓄**！

節約している人は約**8割**

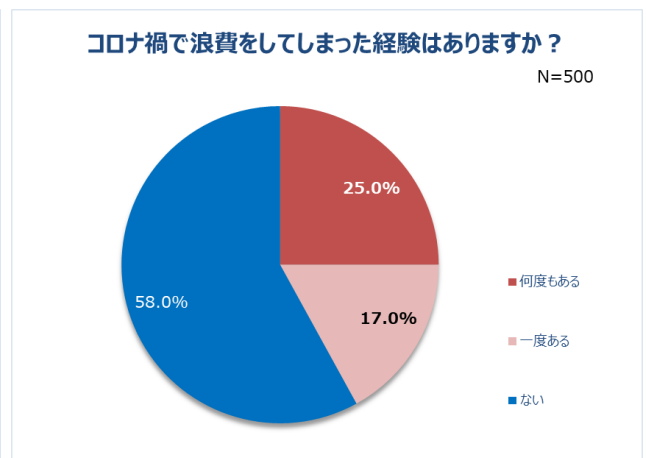
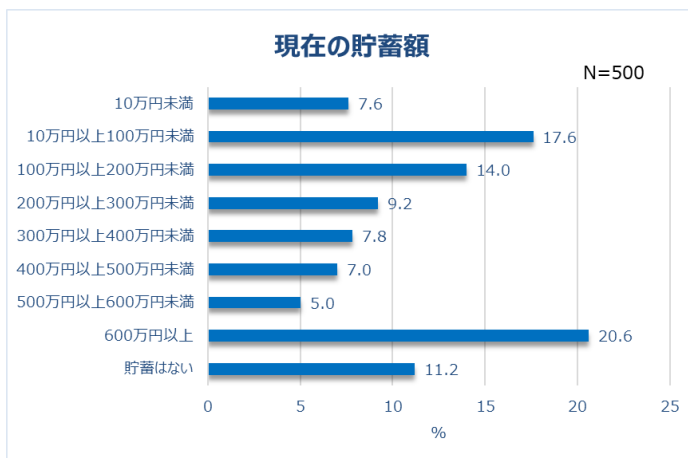
一方、**4割以上“コロナ浪費”**経験有り

**趣味に恋愛… 働く女性たちの 2022年の目標公開！**

**来年こそやりたいイベント 1位：旅行、2位：花火大会・お祭り**

インターネット総合ショッピングモール「Qoo10」(<https://www.qoo10.jp/>)を運営する eBay Japan 合同会社（本社：東京都港区、代表取締役：グ ジャヒョン）は、全国の20代～30代の女性500名を対象に、「コロナ禍 2年目の働く女性の実態調査」を実施しましたので、結果をご報告いたします。

本調査では、約4割の女性がリモートワークを導入していることや、通勤時間削減によって生まれた朝の時間に、約7割の女性が新習慣を始めたことが明らかとなりました。コロナ禍1年目と比べて、3人に1人の収入が変化していることも判明。現在の貯蓄額は意外と多く、5人に1人が600万円以上貯蓄していることが分かりました。また、約8割が節約を意識している一方、4割以上が“コロナ浪費”の経験があることも明らかに。さらに来年の目標や、来年こそやりたいイベントについても調査し、プライベート面から仕事面まで幅広く、多くの意見が寄せられました。コロナ禍2年目における働く女性の実態が見て取れる調査結果となっています。

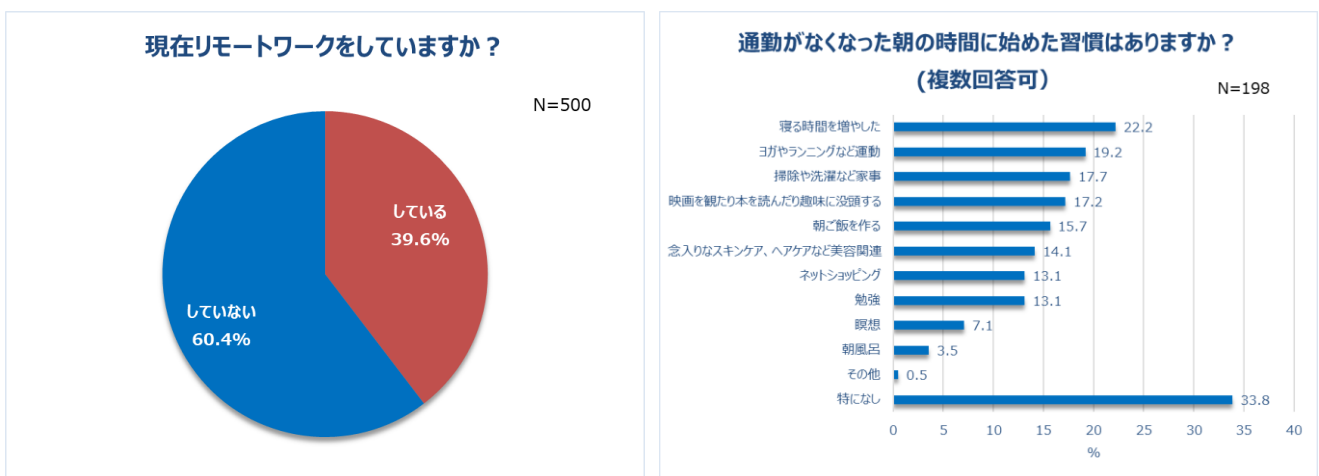


## 調査結果トピックス

1. リモートワークをしている人は約 4 割。通勤時間削減により、うち約 7 割が新習慣を開始。
2. コロナ禍 1 年目と比べて、3 人に 1 人の収入が変化。  
5 人に 1 人が「600 万円以上」貯蓄している（20.6%）。
3. 約 8 割が節約している。「使わない電気は消す」「食材は割引されてから買う」。“ポイ活”をしている人も。  
一方、4 割以上が“コロナ浪費”の経験有り。
4. 来年充実させたいこと「趣味（21.6%）」「恋愛（16.2%）」。  
働く女性の 2022 年の目標公開。来年こそやりたいイベント 1 位：旅行、2 位：花火大会・お祭り。

## <調査結果>

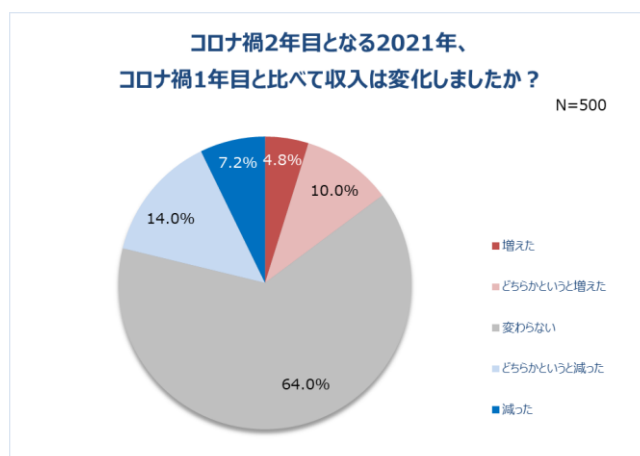
1. リモートワークをしている人は約 4 割。通勤時間削減により、うち約 7 割が新習慣を開始。



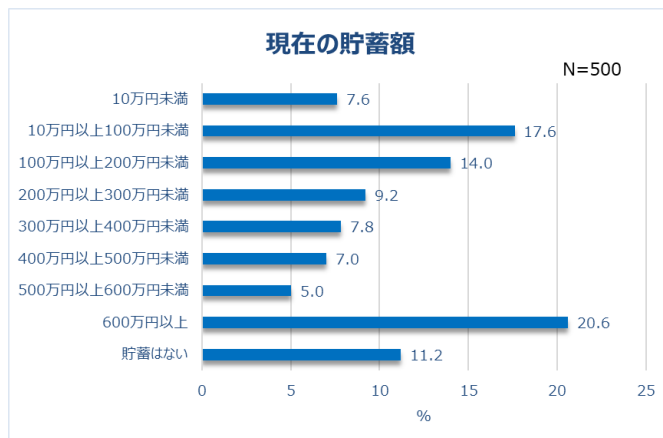
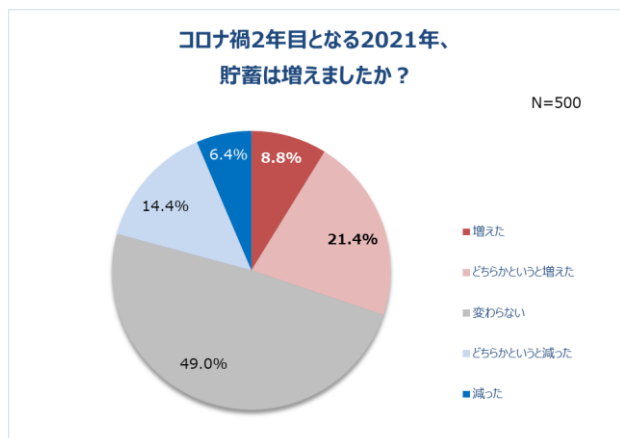
コロナ禍に入っておよそ 2 年が経ち、多くの職場でリモートワークが導入されるようになりました。現在のリモートワーク状況を調査したところ、リモートワークをしている人は約 4 割という結果になりました。

現在リモートワークをしている人を対象に、通勤がなくなった朝の時間の使い方について調査しました。その結果、約 7 割が新たな習慣を取り入れたことが判明。「寝る時間を増やした」（22.2%）に最も多くの回答が集まりました。その他「ヨガやランニングなどの運動」（19.2%）、「掃除や洗濯など家事」（17.7%）などアクティブに活動する人や、「趣味に没頭する」（17.2%）など自分のための時間に充てている人もいました。

2. コロナ禍 1 年目と比べて、3 人に 1 人の収入が変化。  
5 人に 1 人が「600 万円以上」貯蓄している（20.6%）。

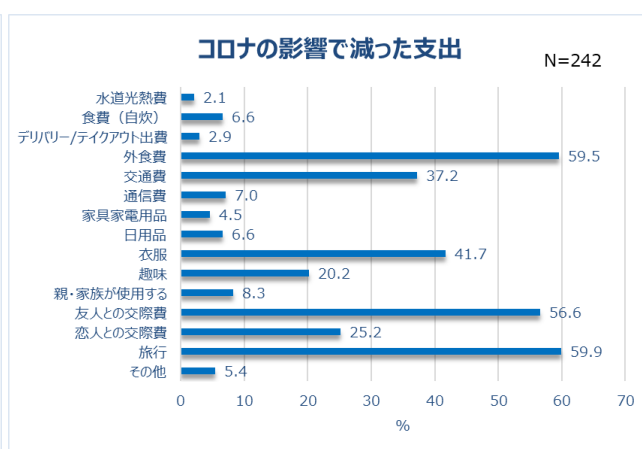
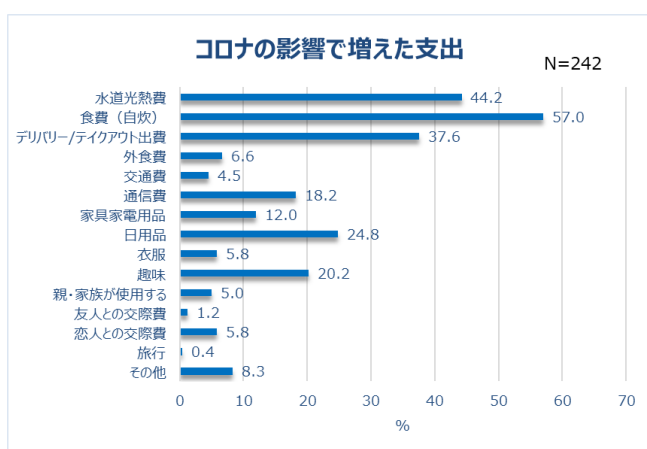


次に、コロナ禍 1 年目と 2 年目の収入の変化について調査しました。その結果、およそ 3 人に 1 人の収入に変化があったことが判明。約 2 割の収入が「減った」（7.2%）、「どちらかという減った」（14.0%）ことが分かりました。具体的な年収を調査したところ、コロナ禍 1 年目は平均 3,093,490 円に対し、コロナ禍 2 年目は平均 2,939,560 円という結果に。若干ではありますが、コロナ禍 2 年目の方が年収が下がっていることが明らかとなりました。



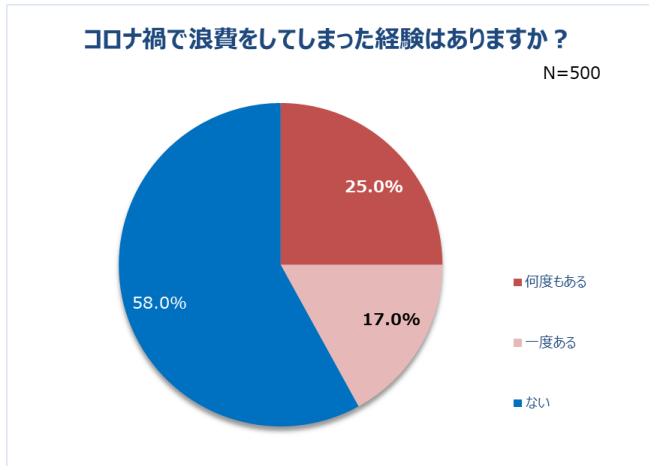
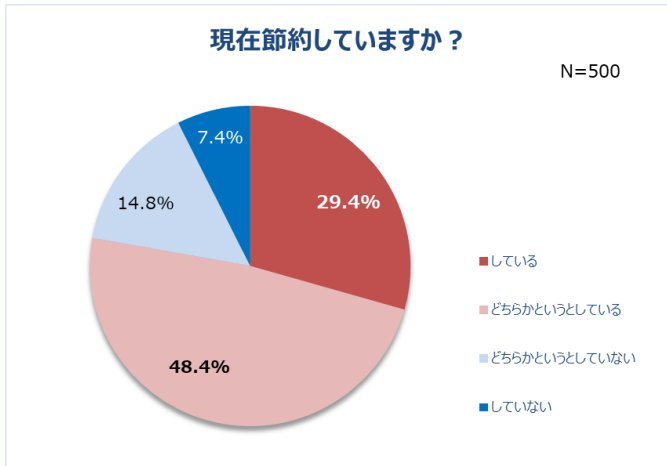
貯蓄の変化も調査しました。その結果、約半数の人の貯蓄に変化があったことが判明。貯蓄が増えた人は、「増えた」（8.8%）、「どちらかという増えた」（21.4%）を合わせて約 3 割でした。

現在の貯蓄額は、「600万円以上」（20.6%）が最多に。一方、次に多い回答は「10万円以上100万円未満」（17.6%）、さらに「貯蓄はない」（11.2%）と回答した人も一定数おり、貯蓄額はばらける結果になりました。



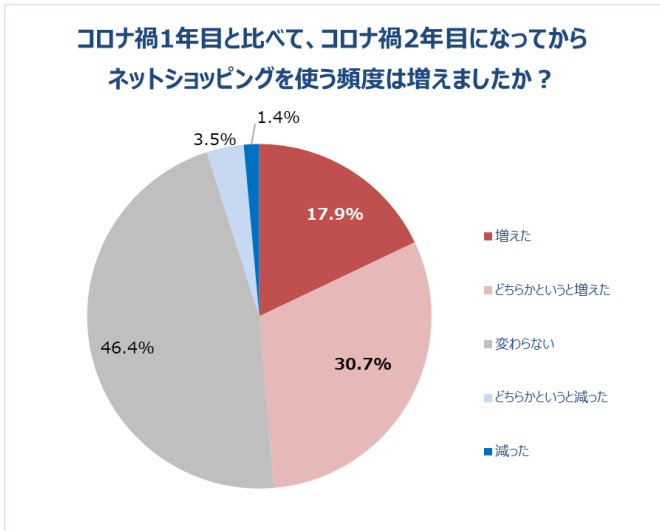
貯蓄が増えた人がいる一方、減った人も一定数いることが分かりましたが、コロナ禍におけるお金の使い道に変化はあったのでしょうか。増えた支出は「食費（自炊）」（57.0%）、「水道光熱費」（44.2%）、減った支出は「旅行」（59.9%）、「外食費」（59.5%）に多くの回答が集まりました。お金の使い方の変化には、おうち時間の増加が大きく影響していると考えられます。また、「友人との交際費」は減った人が多い一方、「恋人との交際費」は増えた人の方が多いことも分かりました。

**3. 約 8 割が節約している。「使わない電気は消す」「食材は割引されてから買う」。“ポイ活”をしている人も。一方、4 割以上が“コロナ浪費”の経験有り。**



コロナ禍で、収入や貯蓄に変化があった人がいることが分かりました。そこで、現在の節約事情についても調査。約 8 割が「節約している」と回答しました。具体的な節約術としては、「使わない電気は消す（東京都・25 歳）」「食材は夕方安くなってから買い物に行って買うようにしている。クーポンを利用するようにしている（三重県・31 歳）」「ネットバンキングなどを利用して手数料がかからないよう気を配っている（兵庫県・35 歳）」などが挙げられ、無駄な出費の削減を意識している人が多いと分かりました。「できるだけポイントが貯まる日に買い物をする（長野県・32 歳）」「キャッシュレスにしてポイントを貯める（東京都・30 歳）」など、“ポイ活”に取り組んでいる人も見られました。

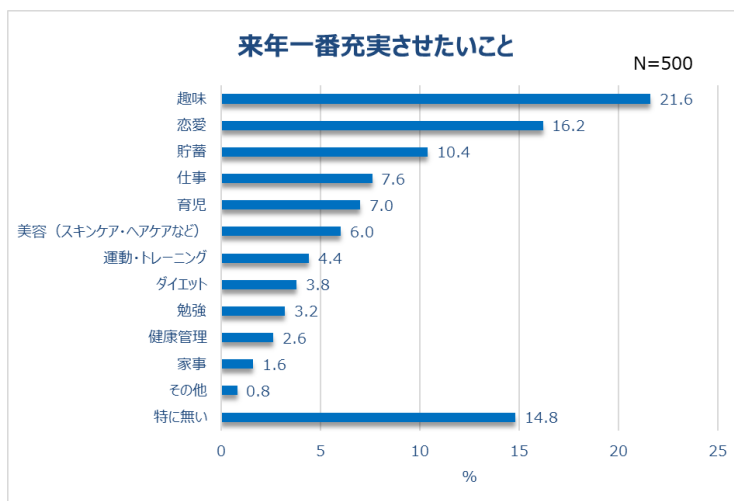
一方で、4 割以上が“コロナ浪費”の経験があることも明らかになりました。ストレスが溜まりやすい昨今は、日々の節約を意識しつつも、ついお金をたくさん使ってしまった、という経験がある人は多そうです。



買い物時の接触を避けるため、コロナ禍によって利用機会が増えたと考えられるネットショッピング。ネットショッピングを利用したことがある人を対象に、コロナ禍 1 年目と 2 年目の利用頻度について聞いたところ、約半数が「頻度が増えた」と回答しました。新しい生活スタイルが定着するにつれて、ネットショッピングはもはや“定番の買い物方法”として、生活に根付いてきていると言えます。

#### 4. 来年充実させたいこと「趣味（21.6%）」「恋愛（16.2%）」。

働く女性の 2022 年の目標公開。来年こそやりたいイベント 1 位：旅行、2 位：花火大会・お祭り



来年充実させたいことや、目標について聞きました。充実させたいことは「趣味」（21.6%）、「恋愛」（16.2%）、「貯蓄」（10.4%）が多い結果となりました。具体的に来年どんな目標があるか聞いたところ、プライベート面から仕事面まで、女性たちの希望を感じる回答が寄せられました。

#### 【20～30 代の働く女性 2022 年の目標】

##### ■趣味

「ずっと中断していた旅行に行く（鳥取県・28 歳）」

「ライブやフェスにたくさん行きたい（香川県・35 歳）」

「フィンランドに一人旅（千葉県・38 歳）」

##### ■恋愛・結婚

「結婚する（千葉県・28 歳、愛知県・28 歳 ほか）」

「結婚を見据えた付き合いの出来る相手と交際すること（神奈川県・25 歳）」

##### ■貯蓄・金銭面

「億万長者（東京都・31 歳）」

「4000 万円貯めることです（大阪府・37 歳）」

##### ■仕事・勉強

「毎月 5 冊は本を読む（茨城県・27 歳）」

「年収を増やす！！！！（愛知県・29 歳）」

「語学を勉強する（東京都・28 歳）」

##### ■運動・トレーニング

「腹筋を割る（栃木県・26 歳）」

「ダイエットで 2 キロ減らす（大阪府・37 歳）」

「ゴルフでスコア 100 切りです！！（青森県・35 歳）」

## ■ 出産・育児・家庭

「初の出産をするので、子供を責任持って家族でしっかりと育てていきたい（埼玉県・30歳）」

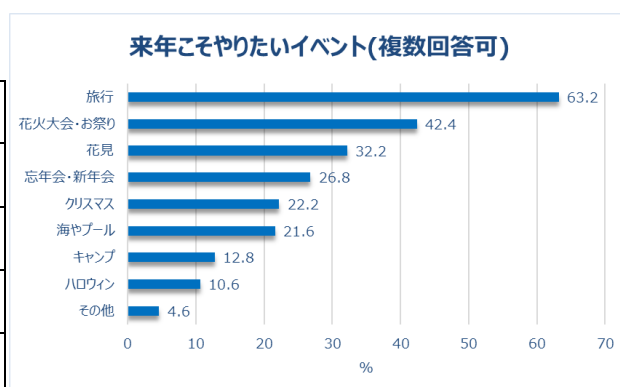
「家族で旅行に行き、思い出を作りたい（静岡県・35歳）」

「マイホームを建てる（愛知県・30歳）」

コロナ禍1年目と比べると規制が緩和された面も増えてきましたが、外出や大規模なイベントの開催は、基本的には自粛が求められる状況が続いています。そこで、来年こそやりたいイベントを調査しました。その結果、1位は「旅行」（63.2%）、2位は「花火大会・お祭り」（42.4%）、3位は「花見」（32.2%）となりました。理由としては「リフレッシュしたい」（48.2%）、「友達とはしゃぎたい」（34.8%）に多くの回答が集まり、遠出してリフレッシュすることや、友人と集まって楽しむにぎやかなイベントを恋しく思っている人は多そうです。

### 【来年こそやりたいイベント（複数回答可）】

1位	旅行（63.2%）
2位	花火大会・お祭り（42.4%）
3位	花見（32.2%）
4位	忘年会・新年会（26.8%）
5位	クリスマス（22.2%）



今後もコロナと向き合いながら送る生活が続くと予想されますが、今回の調査は、多くの女性の向上心や、希望を持って努力していることがうかがえる結果となりました。

### 【調査概要】

調査期間：2021年10月7日（木）～10月11日（月）

対象：全国の、20代～30代の女性500名

調査方法：インターネット調査調査会社：株式会社ネオマーケティング

## ■ 本調査を踏まえたファッション需要について

今回の調査では、多くの女性が来年は「趣味を充実させたい」と考えていることや、「旅行などのイベントを楽しみたい」と考えていることが分かりました。趣味やイベントを楽しむうえでは、ファッションも重要な要素です。旅行では行先に合わせたコーディネートや、友達とお揃いのコーディネートを楽しんだり、ライブやフェスではいつもは着ない系統の服装に挑戦してみたりと、ファッションも思い出の一部として楽しんでいる方は多いのではないのでしょうか。今はまだ大規模なイベントは開催されにくい状況ですが、季節に合わせた新しい洋服を着ることで、特別な気分を味わうことができそうです。

しかし、約8割の人が日常的に節約を意識していることや、4割以上が“コロナ浪費”を経験していることから、賢くお得に買い物をすることも重要です。“衝撃コスパモール”をコンセプトとする「Qoo10」のファッション通販で、イベント気分を盛り上げるアイテムをお得に探してみたいはいかがでしょうか。



### 「3日間のBIG SALE」開催

日時：11月1日（月）～11月3日（水）

URL：<https://bit.ly/3AXpSSF>

内容：「BIG 特価」「冬新作」「今日の特価」「新オープンショップ」などの、お得なコーナーを設置します。また、10%割引クーポン（2,000円以上購入で利用可、最大5,000円）など限定クーポンを全4種類発行します。

## ■ eBay Japan 合同会社について



「Qoo10（キューテン）」は、eBay Japan 合同会社が運営する、“衝撃コスパモール”をコンセプトとしたオープンマーケットプレイスです。2010年に運営を開始した「Qoo10」は、ファッション・ビューティ・スポーツ・デジタル・モバイル・ホームリビング・生活・食品・ベビー・エンタメ・ブック・eチケット等あらゆるジャンルにわたり、豊富な品揃えを誇ります。「Qoo10」を通じて、セラー（売り手）は法人・個人を問わず、国内外から自由に商品を出品でき、バイヤー（買い手）は、安全かつ安心な環境で、お買い物を楽しむことができます。

本社所在地：東京都港区港南 1-6-41 芝浦クリスタル 品川

事業内容：インターネット総合ショッピングモール「Qoo10」の運営

URL：<http://www.qoo10.jp/>